

(3) 交通体系整備

- 将来都市構造の「軸」に対応し、ネットワークづくりの方針を示します。

《基本的な方向性》

- 既存の交通施設を活かしながら、拠点間の連携、円滑な交通、災害時の代替路確保などに資するとともに、将来都市構造を誘導する道路ネットワークを整備します。
- 安全性や快適性の向上、生活交通の確保、交流人口の拡大など、地域特性に合わせた交通環境の整備と活用を図ります。

国土・都市連携軸

広域的な交通体系の整備

- 南北・東西方向の広域交流・物流基盤として、東北縦貫自動車道の利用向上を図るとともに、東北横断自動車道釜石秋田線の早期完成を促進します。
- 北上市や紫波町などとネットワークする南北広域連絡道路として、国道4号の4車線化などの整備を促進します。

地域・拠点連携軸

拠点間を結ぶ交通体系の整備

- 総合サービス拠点、観光レクリエーション拠点、近隣市町の拠点地区などとの相互連絡路線として、国道283号や主要地方道盛岡和賀線、主要地方道花巻大曲線、主要地方道花巻北上線などの整備を働きかけます。
- 本市の骨格となる、既存市街地を中心とした総合サービス拠点同士を結ぶ拠点連携ルートの機能強化を図ります。

市街地の道路

活力ある市街地を支える道路の整備

- 都市化を誘導する地区の主軸として、また市街地と周辺部を結ぶ幹線道路として、良好な市街地形成に必要な都市計画道路である山の神藤沢町線、下巾鍋倉線などの整備を進めます。

持続性のある交通体系

持続可能な都市づくりに向けた配慮

- 都市計画決定後、長期にわたり未着手となっている都市計画道路については、計画決定の経緯とその後の社会経済情勢の変化を踏まえ、検証をしたうえで、体系的な見直しを図ります。
- 幹線道路と有機的に連絡する安全で快適な生活道路の整備を進めます。
- 橋梁などの構造物の長寿命化に努め、既存施設の有効活用を図ります。
- 冬期の円滑な交通の確保・充実に努めます。

公共交通

公共交通の維持と充実

- 空の玄関口である花巻空港を拠点とした産業振興と交流人口の拡大に努めるとともに、空港の利用促進を図ります。
- 生活交通を維持するため、バス路線の見直しや、予約応答型交通手段の導入検討など、効率的で持続可能な公共交通システムの導入に努めます。

総合的な交通環境

交流人口の拡大を支援する交通環境の整備と活用

- 空港、新幹線や高速道路という高速交通体系を活かした交流人口の拡大を図ります。
- 観光客が分かりやすい案内板の整備や駐車場の確保などにより、観光客の迅速な誘導に努めます。
- 道の駅がもつ道路情報・観光情報の発信機能を活用するとともに、特産物販売や地域情報の提供により、地場産業の振興や地域の活性化を図ります。

■交通体系整備方針図

